

昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

<https://doi.org/10.15017/17119>

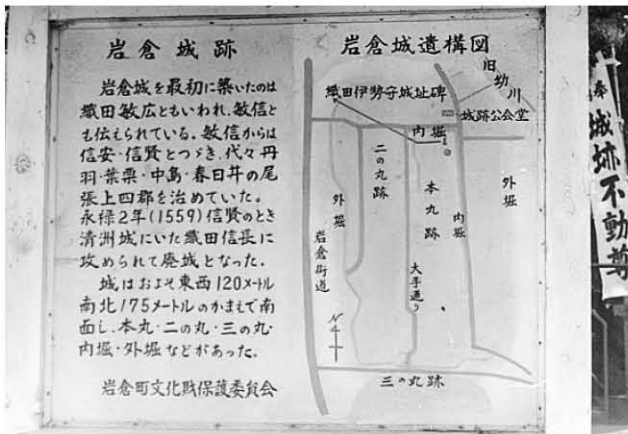
出版情報 : 比較社会文化. 16, pp.121-264, 2010-03-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

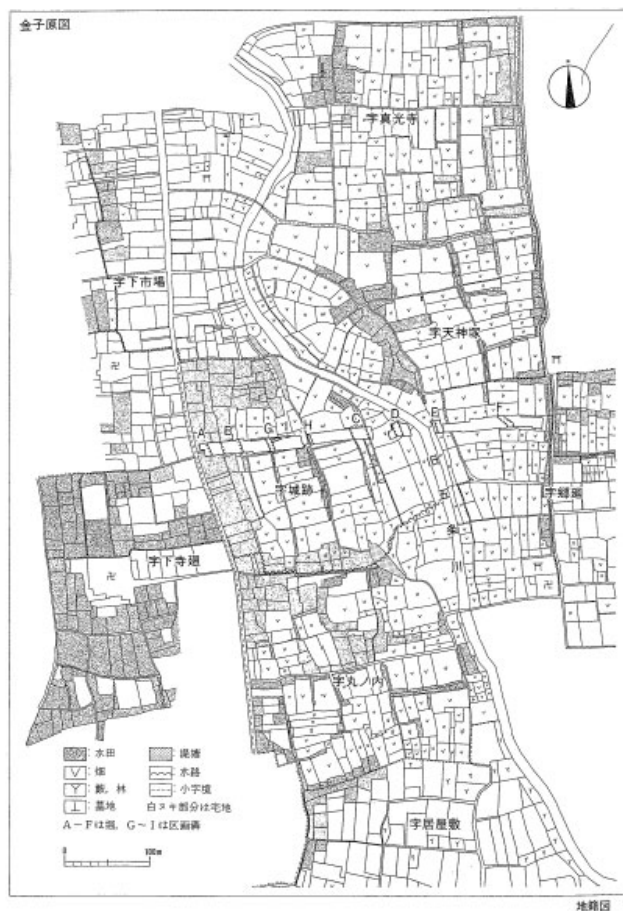


写真番号 (73) 岩倉城址 (岩倉町下市場)





空中写真 1948年米軍撮影 R2877-43



『愛知県中世城館調査報告』 1 より



山内一豊誕生地
(岩倉市下本町下市場)

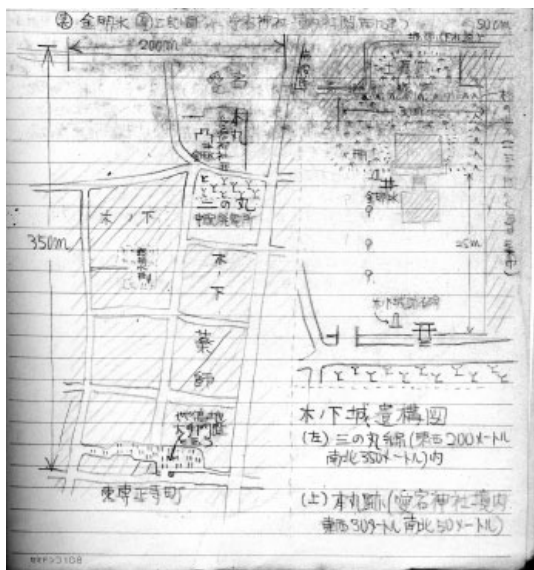
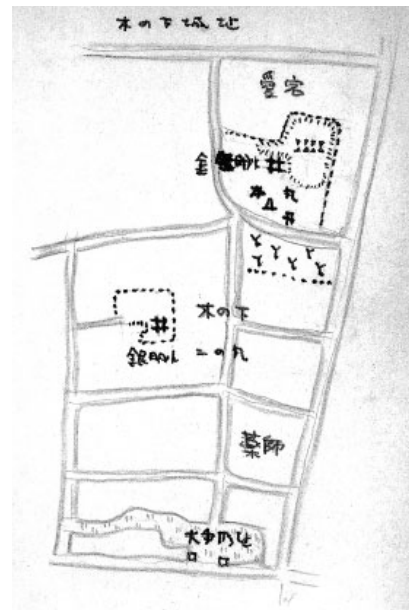
写真番号（74）木ノ下城址（犬山市犬山字愛宕）



二の丸，銀明水



本丸、金明水（左奥、社殿脇）



木ノ下城本丸：愛宕神社社殿の位置は3メートルほどの高台。東・北・西には二重堀、特に北は、戦前は竹藪。土地の隆起がはっきりしていてよくわかった。現在は下水道。高さ50センチ、巾5メートルぐらいの土居が竹藪の中にあり、濠の跡も湿地として残る。土居は下水道より2メートルほど高い。二重堀の内側と社殿の丘との間に、3メートル巾で東・北に杉並木がある。

金明水：深さ6メートル、どんな日照りにも枯れたことのない名水。村中で使っていた。

三の丸跡・大手門跡：東専正寺町にある土手と思われる。現在は畑となって他より1メートル高い。

銀明水：木ノ下にある。コンクリートで蓋。ヘビがいて井戸を守っている。傍らの木は落雷で枯れている。

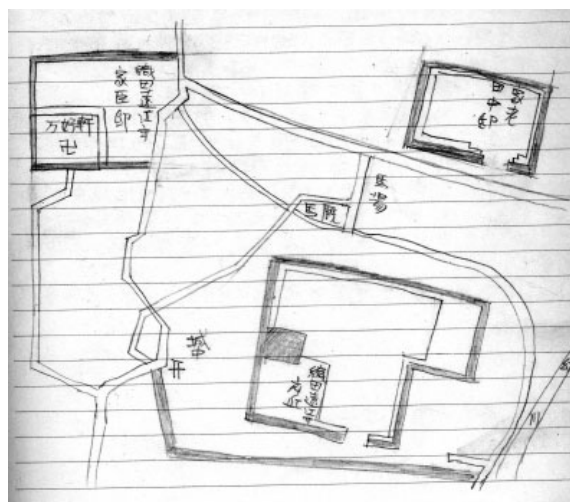
写真番号 (75) 小口城址 (大口町大字小口城屋敷)



小口城土居と濠跡



本丸 (今は現地に城郭風建物が復原されているらしい)



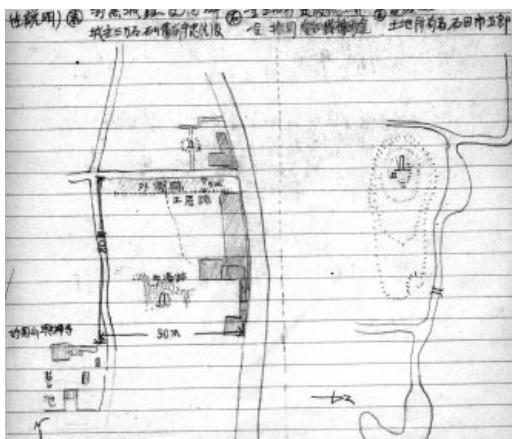
写真番号 (76) 羽黒城址 (犬山市大字羽黒城屋敷、摺墨塚は字摺墨)



北よりの全景 左手に磨墨の塚があった



内濠跡より

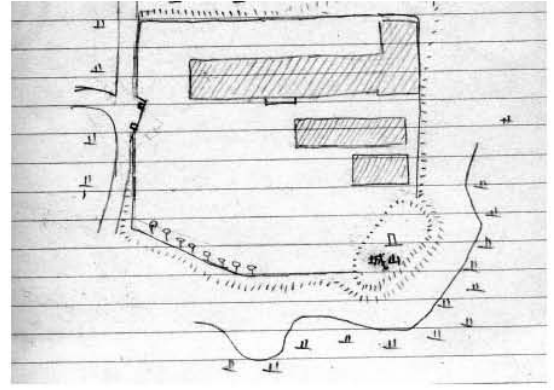


写真番号 (77) 楽田城址 (犬山市楽田字城山)

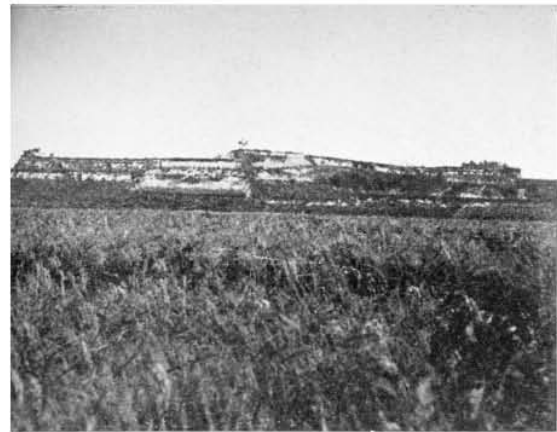




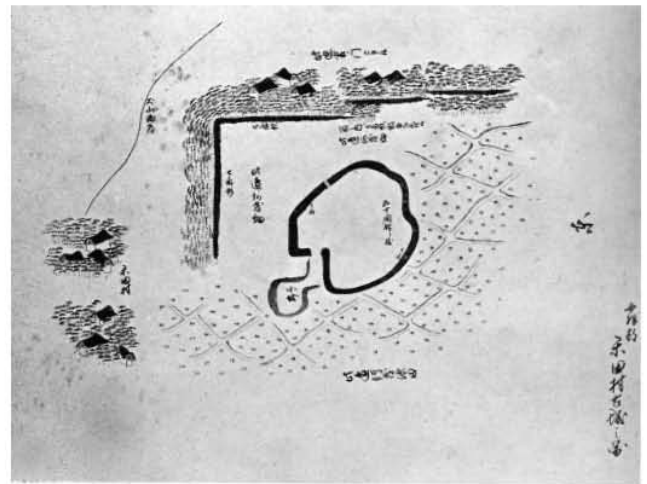
(居土は地高の方左む望りよ方南東) 観外趾城田樂村田樂郡羽丹



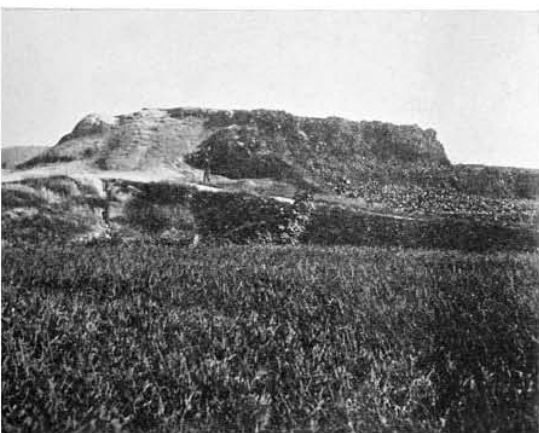
丹羽郡樂田村樂田城趾碑



大正三年取毀前の樂田城南部土居
(中央の高所のみ現存)



(藏所會明郡川總御必) 圖之城古村田樂郡羽丹



同 西南部土居
(高二丈餘上部面積三十坪)

上記5点は『愛知県史蹟名勝天然紀念物調査報告』
18巻より。
大正3年に既に破壊されている。

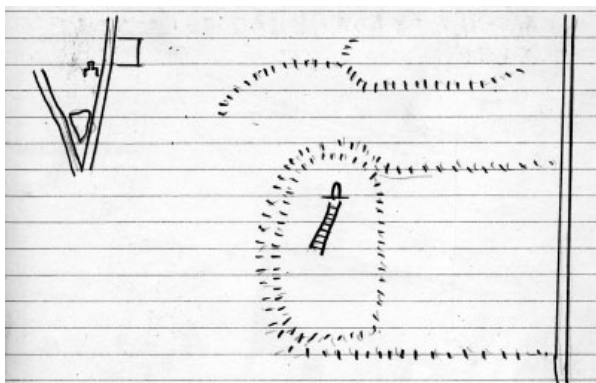
写真番号 (78) 青塚砦址 (犬山市楽田青塚* 青塚古墳)

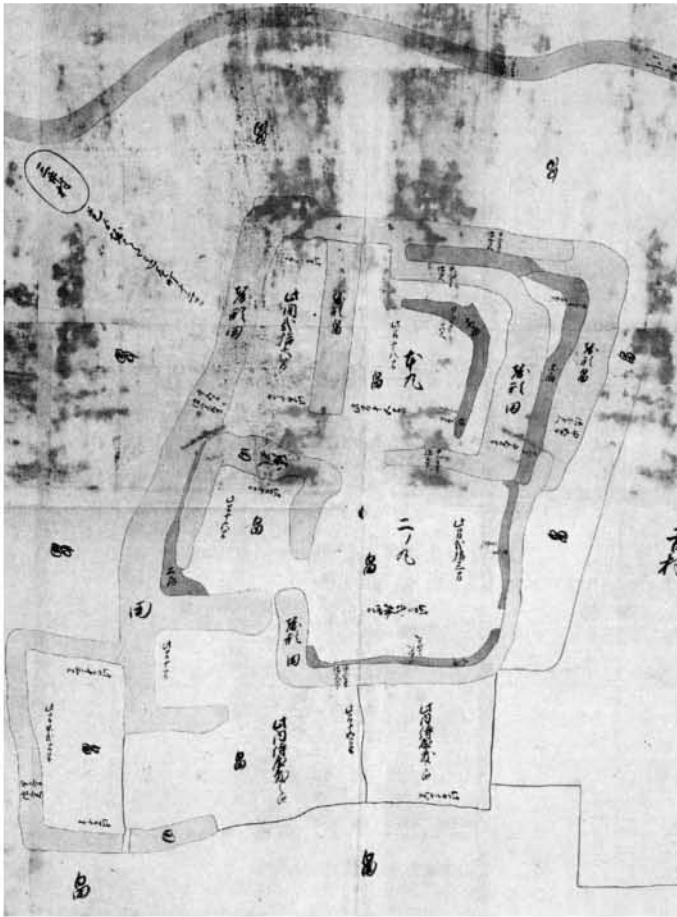


写真番号 (79) 三ツ井城址 (重吉城) (丹陽村大字重吉)

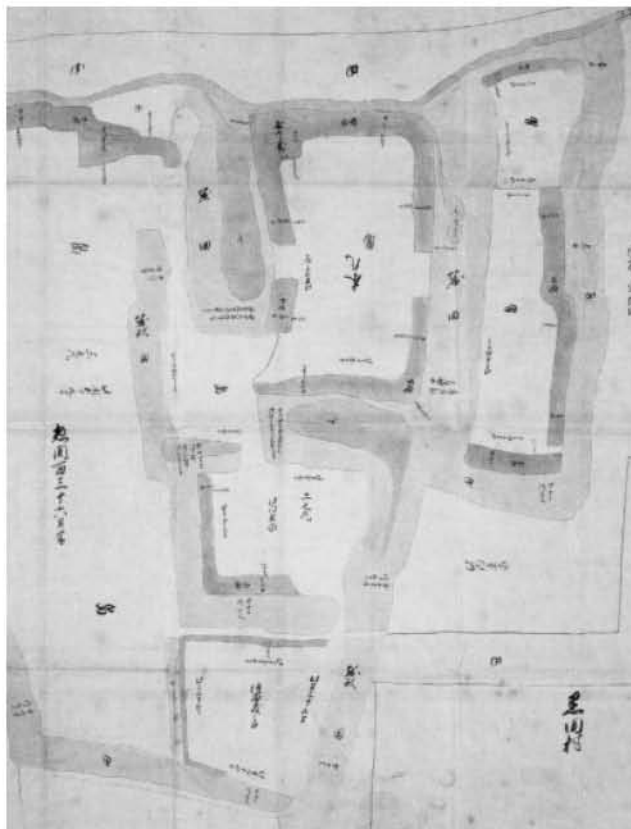


尾藤源内重吉
尾州丹羽郡 三ツ井古城主也…
金鱗九十九之塵





蓬左文庫・丹羽郡重吉村古城絵図



蓬左文庫・萩県黒田村古城絵図
(『愛知県中世城館調査報告』Ⅰより)

写真番号 (80) 黒田城址 (木曾川町黒田)

